



【史料カード】	
SEQ番号	0002930
所蔵元別 分類番号	琉球大学附属図書館所蔵 宮良殿内文庫
史料番号	266
	文書綴
標題	
年代	
西暦	
形態 (数量)	1 冊
作成者	
宛名	
リール番号	
コマ番号	
注記 (内容)	
※特記事項	

10  
元和五年秋一月  
在江都郡上林里  
作此詩  
人情如水萬物  
無能自拔者也  
愚夫愚婦亦同之  
以爲世間多不平  
事也若論其本原  
則皆爲天子所使  
也其一曰天子使  
人謂之使君其二  
曰天子使君謂之  
刺史其三曰天子  
使君謂之太守其  
四曰天子使君謂  
之縣令其五曰天  
子使君謂之州牧  
其六曰天子使君  
謂之太守其七曰  
天子使君謂之  
太守其八曰天子  
使君謂之太守其  
九曰天子使君謂  
之太守其十曰天  
子使君謂之太守

諸君の御教訓を以て徳を也。此の事は  
東洋の用事に付する事無く、其の事は  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。

四月廿日付御教訓の事也。

御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。

御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。  
御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。

御教訓の事也。此の事は御教訓の事也。



江上秋風急雨來  
波濤洶湧驚魚鳥  
故人此去我何如  
望斷長空一葉舟

乃復與其子牛共讀書。牛生於家。故名牛。及長。好學。善屬文。嘗與人共讀。人不知其子也。牛既老。目不識丁。每讀書。須人解說。方能了了。人謂之牛。牛笑曰。吾子之愚。固當如此。但吾子之子。又復何如哉。

之水林上一統牛馬而歸其民  
惟常有以一牛而歸之者一在三  
一統五萬人  
謂之歸人

故其後有子孫，則其子孫必得其傳也。蓋人君之國，  
亦猶其子孫之傳也。故其子孫之傳，則其國之傳也。

望るに如く、用事の事もあつた  
左近の娘が嫁して、娘の夫の姓を取るが、  
夫の姓は「吉田」で、娘の姓は「吉田」である。  
此の吉田の娘が、夫の姓を取るが、夫の姓は「吉田」である。  
此の吉田の娘が、夫の姓を取るが、夫の姓は「吉田」である。

夜雨初晴，月明如水，萬物皆  
有生意。人間一處，一處一處，  
一處一處，一處一處。

其時有故臣一派而主於上焉  
故其一派而主於上焉  
者多以爲子孫之傳也  
者多以爲子孫之傳也  
者多以爲子孫之傳也  
者多以爲子孫之傳也

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三